

平成 24 年度
日本植物病理学会九州部会
(九州病害虫研究会共催)
講演会プログラム
および
講演要旨集

平成 24 年 11 月 14 日 (水) ~15 日 (木)
福岡県農村整備センター
(福岡市)

平成 24 年度 日本植物病理学会九州部会講演会（九病虫共催）

日 程 : 平成 24 年 11 月 14 日（水）～11 月 15 日（木）

- 講演会 : 平成 24 年 11 月 14 日（水）13:00～17:00
11 月 15 日（木） 9:00～12:00

福岡県農村整備センター

〒812-0044 福岡市博多区千代 4 丁目 4 番 28 号

Tel: 092(642)1881

- 幹事会 : 平成 24 年 11 月 14 日（水）11:00～13:00
福岡県農村整備センター（指導センター 4F）

- 総会 : 平成 24 年 11 月 15 日（木）9:00～9:30
講演会と同会場

講演形式について

（講演時間 11 分間、質疑 2 分間 ; 9 分で予鈴、11 分で本鈴、13 分で終鈴）

講演は Windows Microsoft PowerPoint 2000 以上で作成して頂いた発表内容を液晶プロジェクターで投影しながら行って頂きます。発表会当日、午前・午後の開始 30 分前までにファイルの入った CD-ROM または USB メモリを発表会場にご持参の上、発表者ご自身で作動の可否をご確認ください。インストールは、病害・虫害各会場係が行いますので、会場係に直接 CD-ROM または USB メモリをお渡してください。

講演会プログラム

(講演時間 11 分間、質疑 2 分間 ; 9 分で予鈴、11 分で本鈴、13 分で終鈴)

11 月 14 日(水)

- (13:00-13:05) 開会
- 1 **ボタンボウフウ(長命草)の *Puccinia jogashimensis* によるさび病および *Septoria* sp. による斑点病(新称)**
(13:05-13:18) 佐藤豊三¹・白玉敬子²・大城 篤³・○新崎千江美⁴・金子 繁¹ (¹生物研・²沖縄八重山農水振興セ・³沖縄農セ名護・⁴沖縄農セ)
- 2 **10 種の蘚苔類に発生した白絹病(新称)**
(13:18-13:31) ○森田 昭
- 3 **講演取り消し(休憩)**
(13:31-13:44)
- 4 **イチゴうどんこ病の株上での越夏**
(13:44-13:57) ○稲田 稔(佐賀農業セ)
- 5 **ジャガイモ疫病初発時期予測システム利用による効率的な防除**
(13:57-14:10) ○小川哲治・難波信行・菅 康弘(長崎農技セ)
- 6 **カンキツ褐色腐敗病の感染成立前後における保護殺菌剤および浸透移行性を有する殺菌剤の散布による発病抑制効果の違い**
(14:10-14:23) ○野口真弓・田代暢哉¹・井手洋一²・口木文孝(佐賀果樹試・¹佐賀上場営農セ・²佐賀農技防)
- 7 **焼酎粕加工液を利用した土壌病害虫抑止法の開発(第4報)メロン黒点根腐病(*Monosporascus cannonballus*)に対する抑止効果**
(14:23-14:36) ○黒木尚・今村幸久・野崎克弘・黒木利美(宮崎総農試)
- 8 **イチゴうどんこ病の発病葉を用いた殺菌剤の防除効果簡易評価法確立の取組み**
(14:36-14:49) ○樋口康一・重水穂奈美¹・下古立正美²・原田一幸³・松本 徹⁴(鹿農総セ・¹北薩局農政・²大隅局曾於畑かんセ・³鹿児島局農政日置・⁴北薩局農政出水)
- 9 **本邦産ジャガイモ青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* の各種植物に対する病原性の差異**
(14:49-15:02) ○菅 康弘^{1,3}・堀田光生²・古屋成人³・土屋健一³(¹長崎農技セ,²農環研,³九大院農)

- 10 **イネ葉鞘上に生息する優占細菌の生物的防除素材としての性状解析**
(15:02-15:15) ○田辺尚子¹・古屋成人¹・丹羽理恵子²・吉田重信²・對馬誠也²・土屋健一¹ (¹九大院農・²農環研)
- 11 **熱帯原産の野生ナス科植物から分離された内生細菌の性状解析**
(15:15-15:28) ○吉本翔二¹・古屋成人¹・城野隆宏¹・Hoang Hoa Long²・竹下 稔¹・黒瀬大介³・土屋健一¹
(¹九大院農・²Agricultural Genetics Institute, Vietnam・³農環研)
- 12 **軟腐症状を呈するホオズキから分離された *Erwinia* 属細菌について**
(15:28-15:41) ○柳屋佑樹¹・古屋成人¹・黒瀬大介²・稲田 稔³・山口 純一郎⁴・竹下 稔¹・土屋健一¹ (¹九大院農・²農環研・³佐賀農業セ・⁴佐賀農技防)
- 13 **サトイモ(タイモ: *Colocasia esculenta* L.)立枯細菌病菌とイネネモグリセンチュウ *Hirschmanniella oryzae* の同時接種による立枯細菌病の病徴再現**
(15:41-15:54) ○大城篤¹・田部井大介¹・新崎千江美²・比嘉明美¹・河野伸二³・太郎良和彦² (¹沖縄農研セ名護,²沖縄農研セ,³沖縄県庁)
- 14 ***Xanthomonas campestris* pv. *campestris* ATCC33913 株由来 β-L-アラビノピオシダーゼのクローニングと機能解析**
(15:54-16:07) ○安川結野・中村正幸・藤田清貴・岩井 久(鹿児島大農)
- 15 **土壌の違いがカンキツグリーニング病の発病に及ぼす影響**
(16:07-16:20) ○上之菌茂¹・尾川宜広¹・中村正幸² (¹鹿児島農総セ果樹・²鹿児島大農)
- 16 **野外におけるカンキツグリーニング病無病徴感染樹の検出**
(16:20-16:33) ○大石毅¹・澤岷哲也¹・亀川藍²・宇久田理恵¹・村山祐子¹ (沖縄農研セ・²沖縄県農林水産部営農支援課)
- 11 月 15 日(木)**
- (9:00-9:30) ----- 総 会 -----
- 17 **韓国におけるカブモザイクウイルス分離株の遺伝的多様性**
(9:35-9:48) ○大庭希歩¹・古賀涼子¹・Oksun Kim²・Jang-Kyung Choi³・上田重文⁴・大島一里¹ (¹佐賀大農・²韓国種子管理・³韓国江原大・⁴九沖農研セ)
- 18 **奄美大島における *East Asian Passiflora virus* 集団の遺伝構造と多様性**
(9:48-10:01) ○福元智博¹・中村正幸¹・大島一里²・岩井 久¹ (¹鹿児島大農・²佐賀大農)

- 19 **我が国に発生しているラッカセイわい化ウイルスの分子系統解析**
 (10:01-10:14) ○八坂亮祐¹・小坂能尚²・穴井豊昭¹・大島一里¹ (¹佐賀大農・²京都農技セ生資セ)
- 20 **ランキュラスから分離された Potyvirus の遺伝子配列解析**
 (10:14-10:27) ○中村琢也¹・菅野善明² (¹南九大院園・²南九大環園)
- 21 **イチジクモザイクウイルス (FMV) 診断のための検出法の改良**
 (10:27-10:40) ○草野成夫¹・清田真二²・村本晃司¹・牛島孝策¹ (¹福岡農総試果樹苗木・²福岡県病害虫防除所)
- 22 **改良 DIBA (Dot Immuno-binding Assay) 法を用いたキュウリ黄化えそ病の迅速・簡便かつ低コスト診断**
 (10:40-10:53) ○櫛間義幸・黒木尚・壹岐透・今村幸久 (宮崎総農試)
- 23 **宮崎県内のホオズキにおけるトバモウイルスの発生実態**
 (10:53-11:06) ○河野亜希子¹・長田龍太郎¹・大田哲史¹・宇藤山裕美²・黒木尚¹・今村幸久¹ (¹宮崎総農試・²宮崎県東京事務所)

講演会 座長一覧

講演番号	座長氏名 (敬称略)	所属
11月14日(水)		
1~4 (13:05~13:57)	松元 賢	九大熱研セ
5~8 (13:57~14:49)	稲田 稔	佐賀農業セ
9~12 (14:49~15:41)	吉田 政博	東海大農
13~16 (15:41~16:33)	津野 和宣	宮崎大農
11月15日(木)		
17~20 (9:35~10:27)	竹下 稔	九大院農
21~23 (10:27~11:06)	菅野 善明	南九大園